

特定用途指向の新しい回転機 (モータ／発電機)の研究



研究概要

キーワード 回転機／モータ／発電機

回転機は、電気・機械エネルギー変換を高密度、高効率で実現でき、社会基盤を支えるキーデバイスとして電力、産業、交通、家電、民生などの幅広い分野で利用されています。ただ、低炭素社会の実現に欠かせない電気自動車、ハイブリッド電気自動車、風力発電などに用いられる回転機では、まだまだ技術課題が多く発展途上にあります。

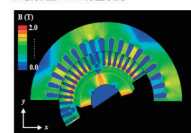
当研究室では、このような特定用途に一番フィットした新しい回転機の開発をコンピュータと実験により行っています。



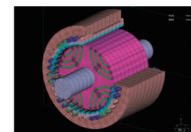
■ 新型回転機の試作



■ 計算機による特性予測



■ 実験による特性評価



今後の展開やメッセージ

回転機的设计と解析に関することであれば、お気軽にお問合せください。

研究者情報・共同研究者



深見 正 教授・工学博士

工学部 電気電子工学科
所属研究所：電気・光・エネルギー応用研究センター

金沢工業大学電気工学科卒。同大学大学院工学研究科博士課程(電気電子工学)修了。三菱電機(株)入社、中央研究所に勤務。1992年本学助手、講師、助教授を経て、2004年教授。2021年電気学会フェロー(IEEE Fellow)。

[研究者情報URL](https://researchmap.jp/Tadashi_Fukami)

https://researchmap.jp/Tadashi_Fukami



津田 敏宏 講師・博士(工学)

工学部 電気電子工学科
所属研究所：電気・光・エネルギー応用研究センター、SDGs推進センター

金沢工業大学工学部電気工学科卒。同大学大学院工学研究科博士後期課程(電気電子工学専攻)修了。東芝三菱電機産業システム(株)を経て、2018年本学講師就任。

[研究者情報URL](https://researchmap.jp/read0128724)

<https://researchmap.jp/read0128724>